



講演会

メルシェ神父の生き様

と時代背景



講師：五島 真理為 氏

HIV と人権・情報センター元理事長
(著書「いのち、響きあって一病気や障害
は来た道、行く道」など)

定員
60 名
先着順

8 月 5 日 (土)
14:00~15:00

市民センター 218 講義室



遠藤周作のエッセイや小説のモデルとしても、しばしば登場するメルシェ神父が夙川カトリック教会に第 3 代の主任司祭に就いたのは、32 歳の 1937 年でした。1945 年 5 月 7 日には「スパイ容疑」で逮捕され、終戦とともに 8 月 16 日に解放されました。戦争がもう少し続けば、飢えと虐待で確実に死んでいただろう、と神父は述べています。しかし、自分が受けた拷問や拘留生活については、死ぬまで沈黙を守りぬきました。神父が書き記した「報告」をもとに、その時代と人となりについて紹介します。

平和展



阪神間文学にみる

大戦下の街と暮らし

海岸沿いに軍需工場が立ち並んでいた阪神間は、太平洋戦争末期の空襲で大きな被害を受けました。北村薫著『リセット』では、芦屋に住む戦時中のお嬢様たちの暮らしや、川西航空機の部品置き場となっていた山手小学校が登場します。

昨年の展示に引き続き、本年は北村薫、佐藤愛子、野坂昭如、他の作品を展示します。あわせて芦屋市の実業家山本願弥太氏が武者小路実篤の要請により購入し、多くの日本人に感銘を与えながらも、神戸大空襲により焼失したゴッホの「ひまわり」の紹介をします。

また満州国皇帝であった愛新覚羅溥儀の姪の福永嫻生様のご厚意により、愛新覚羅溥儀の歴史資料の展示コーナーを設けます。



展示期間:

平成 29 年 7 月 15 日(土)~8 月 16 日(水)
(休館日を除く)

会場: 芦屋市民センター 3 階展示場

芦屋市立公民館

☎ 35-0700

主催 芦屋市・芦屋市教育委員会・芦屋公民館